

来春オープン 道の駅

問 「道の駅しもにた」再整備事業・費用対効果

答 20年間で、約1億円の歳入

議員 改修費総額と補助金等について。

商工観光課長 全体事業費は契約ベースで

約6億7千万円、その内の補助金が約2億9千万円、過疎債等3億1千万円、一般財源が約4千万円です。

議員 再整備事業の費用対効果について。

商工観光課長 20年間

で町の歳入として約1億円見込んでいます。

議員 フードコート・

高速バスターミナル・コミュニティ施設について。

商工観光課長 フード

コート内で地元農産物を使用した6次産業化を展開し、生産者が通年での所得が得られるように図つ



岡田 邦敏 議員

ていきます。

高速バスターミナルについては、屋根及び雨風をしのげる待合室を設置し、そこからトイレまでの通路にも屋根を設置します。コミュニ

ティ施設の目的は、子育て及び高齢者支援などの地域福祉支援の拠点という大きな目的と有事の際に、地域防災の拠点としての機能を有する建物です。

議員 来春にオープン

予定ですが、町長としてどんな道の駅にしたいですか。

町長 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置づけ、

完成後は地産外消による販路拡大や売り上げの増大により、地域経済の好循環を実現させ、あわせて農業振興及び支援など基幹産業の拠点にしたい。

問 災害時の対応は

答 急傾斜対策や地産事業で対策工事をする

議員 配布された防災

マップには、随所に土砂崩れや水害の危険箇所が多く見受けられるが、町としての対策は。

総務課長 急傾斜対策

や地産事業は、地区の要望等により該当する課が県へ要望し、県が現地を確認し対策工事を実施する。

議員 災害が発生した

場合、徒歩等で速やかに登庁できる職員は何人いますか。

総務課長 2キ口未満

の職員25名を緊急登庁職員に指定して、初期対応にあたりその他の職員は災害の状況により、それぞれの勤務場所に参集する。

議員 災害用の笛は孤

立した場合や屋外等で助けが必要なとき、また危険を知らせる場合など有効な手段で、防犯上も役立つと思われる。

総務課長 今後も区長

会等の会議で防災意識の向上を進めた

問 「チャレンジ交流

拠点しもにた」について

答 起業支援と地域の交流スペース

議員 仲町の旧黒澤商

店さん跡地に建設が予定されている「チャレンジ交流拠点しもにた」の総工事費及び補助金等について。

地域創生課長 総工事

費は約6350万円、その内訳は補助金等6千万円、一般財源350万円を予定している。

議員 どんな人が、ど

んな目的で、いつから使用できるのか。

地域創生課長 企業支援と地域の交流スペースとして、来年度からの使用を予定しています。

議員 町長はこの施設をどのようにしていきたいか。

町長 起業したい若者を、行政として応援するとともに交流人口の増加、にぎわい創出を図り地域の活性化につなげたい。



「チャレンジ交流拠点しもにた」建設予定地